

2022年3月7日

記者各位

郵船出光グリーンソリューションズ株式会社

ボイラ制御最適化システム「ULTY-V plus」木質ペレット混焼対応型で 1%超の燃料削減を達成

出光興産と日本郵船グループが出資する郵船出光グリーンソリューションズ株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:土屋恵嗣)は、このたび、中国電力株式会社新小野田発電所向けに販売したボイラ制御最適化システム「ULTY-V plus」(アルティ ヴィ プラス)での木質ペレット※混焼運転の長期試験に於いて、1%を超える燃料削減効果を達成した。

中国電力(株)は、近年カーボンニュートラルの促進を進めており、ホワイトペレットを炉内混焼することで脱炭素に対する取り組みを推進している。同社新小野田発電所では、ホワイトペレットを混焼率(熱量比):8cal%程度混焼しているが、石炭に対して熱量も異なり、発電効率の低下が懸念されていた。

しかし、ボイラ制御最適化システム「ULTY-V plus」(アルティ ヴィ プラス)のバイオマス混焼率対応型の導入により、長期的な試験の結果、1%を超える発電効率の向上を確認する事ができ、更に石炭使用量を削減し安定的且つ効率的な運転を可能とした。これにより、CO₂排出量は年間で約3万トン削減される見込み。

※木質ペレットとは木質を原料とした次世代代替バイオマス燃料であり、ホワイトペレット、ブラックペレットがその代表的な燃料である。

「ULTY-V plus」とは、AI(人工知能)を組み込んだ学習機能により最適な運転へ導くことでボイラ効率を向上させ、燃料使用量の削減による経済性向上とCO₂排出量の低減に貢献する装置。

郵船出光グリーンソリューションズ株式会社は、最先端のAI制御テクノロジーやバイオマス燃料にも対応した効率的な燃焼技術など持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

-お問い合わせ-

郵船出光グリーンソリューションズ株式会社

<https://nyk-idemitsu-gs.co.jp/contact/>